

パッケージ区分	在宅・慢性期領域		時間	61
研修概要	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 （A）気管カニューレの交換	医師の指示の下、手順書により、気管カニューレの状態（カニューレ内の分泌物の貯留、内腔の狭窄の有無等）、身体所見（呼吸状態等）及び検査結果（経皮的動脈酸素飽和度（SpO2）等）等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、留置されている気管カニューレの交換を行う。		
	ろう孔管理関連 （A）胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	医師の指示の下、手順書により、身体所見（ろう孔の破たんの有無、接着部や周囲の皮膚の状態、発熱の有無等）等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換を行う。		
	創傷管理関連 （A）褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	医師の指示の下、手順書により身体所見（血流のない壊死組織の範囲、肉芽の形成状態、膿や滲出液の有無、褥瘡部周囲の皮膚の発赤の程度、感染徴候の有無等）検査結果及び使用中の薬剤等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、鎮痛が担保された状況において、血流のない遊離した壊死組織を滅菌ハサミ（剪刃）、滅菌撮子等で取り除き、創洗浄、注射針を用いた穿刺による排膿等を行う。出血があった場合は、圧迫止血や双極性凝固器による止血処置を行う。		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 （B）脱水症状に対する輸液による補正	医師の指示の下、手順書により、身体所見（食事摂取量、皮膚の乾燥の程度、排尿回数、発熱の有無、口渇や倦怠感の程度等）及び検査結果（電解質等）等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、輸液による補正を行う。		
到達目標	1. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、在宅・慢性期領域の特定行為ができるようになる。			
	2. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。			
	3. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。			
	4. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習			
	OSCE：評価表（DOPS）を用いた観察評価			
	試験：eラーニング上もしくは集合で修了試験を実施			
研修内訳	講義（57時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（1時間）	視聴時間（イントロ）5分＋グループワーク45分＋視聴時間（解説）10分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	OSCE（3時間）	OSCEは、指定研修機関で行う		
	試験	修了試験は指定研修機関ごとに時間・設問数など設定してご利用ください		

※各講義、演習、OSCEは1コマ60分で構成されています

学ぶべき事項		講師	所属	研修方法	番号
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連 （共通）呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連の基礎知識	気管切開の目的と局所解剖、適応と禁忌	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-1
	気管切開を要する主要疾患のフィジカルアセスメントと気管切開に伴うリスク（有害事象とその対策等）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-2
	気管切開を要する主要疾患の病態生理（1）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-3
	気管切開を要する主要疾患の病態生理（2）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-4
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連 （A）気管カニューレの交換	気管カニューレの適応と禁忌、気管カニューレの構造と選択	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-5
	気管カニューレの交換の困難例の種類とその対応	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-6
	気管カニューレの交換の手技	田村 学	おおさか往診クリニック理事長	講義	3-7
	気管カニューレの交換	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	OSCE	3-8

ろう孔管理関連 (共通) ろう孔管理関連の基礎知識	胃ろう、腸ろうに関する局所解剖	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-1
	膀胱ろうに関する局所解剖	齋藤 駿河	島田総合病院 内科・泌尿器科	講義	8-2
	胃ろう、腸ろうを要する主要疾患の病態生理	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-3
	膀胱ろうを要する主要疾患の病態生理	齋藤 駿河	島田総合病院 内科・泌尿器科	講義	8-4
	胃ろう、腸ろうを要する主要疾患のフィジカルアセスメント	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-5
	膀胱ろうを要する主要疾患のフィジカルアセスメント	齋藤 駿河	島田総合病院 内科・泌尿器科	講義	8-6
	カテーテル留置と患者のQOL (1)	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-7
	カテーテル留置と患者のQOL (2)	桐谷 知美	大井田病院 内科医	講義	8-8
	カテーテルの感染管理	木下 真理 村上 弘子	訪問看護ステーション愛美園 特定行為研修了看護師	講義	8-9
	カテーテル留置に必要なスキンケア	紺家 千津子	金沢医科大学 看護学部	講義	8-10
ろう孔管理関連 (A) 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	胃ろう及び腸ろうの目的、適応と禁忌、栄養に関する評価、胃ろう造設の意思決定ガイドライン	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-11
	胃ろう及び腸ろうに伴うリスク（有害事象とその対策等）(1)	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-12
	胃ろう及び腸ろうに伴うリスク（有害事象とその対策等）(2)	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-13
	胃ろう及び腸ろう造設術の種類、胃ろう、腸ろうカテーテル及び胃ろうボタンの種類と特徴	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-14
	胃ろう、腸ろうカテーテル及び胃ろうボタンの交換時期、交換の方法	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	講義	8-15
	胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	小川 滋彦	医療法人社団 小川医院 理事長	OSCE	8-16
創傷管理関連 (共通) 創傷管理関連の基礎知識	皮膚、皮下組織（骨を含む）に関する局所解剖、主要な基礎疾患の管理、全身・局所のフィジカルアセスメント	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-1
	慢性創傷の種類と病態、褥瘡の分類、アセスメント・評価、治療のアセスメントとモニタリング（創傷治癒過程、TIME理論等）	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-2
	リスクアセスメント、褥瘡及び創傷治療と体圧分散、褥瘡及び創傷治療と排泄管理	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-3
	褥瘡及び創傷治療と栄養管理	田村 佳奈美	福島学院大学 食物栄養学科講師	講義	11-4
	DESIGN-Rに基づいた治療指針	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-5
	褥瘡及び創傷の診療のアルゴリズム、褥瘡の治療のステージ別局所療法	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-6
	感染のアセスメント	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-7
	下肢創傷のアセスメントと病態別治療 (1)	寺師 浩人	神戸大学医学部形成外科学教室 教授	講義	11-8
	下肢創傷のアセスメントと病態別治療 (2)	寺師 浩人	神戸大学医学部形成外科学教室 教授	講義	11-9
	下肢創傷のアセスメントと病態別治療 (3)	寺師 浩人	神戸大学医学部形成外科学教室 教授	講義	11-10
	下肢創傷のアセスメントと病態別治療 (4)	寺師 浩人	神戸大学医学部形成外科学教室 教授	講義	11-11
	創部々開創のアセスメントと治療	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-12

(A) 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の目的 (1)	榊原 俊介	兵庫県立がんセンター 形成外科	講義	11-13
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の目的 (2)	榊原 俊介	兵庫県立がんセンター 形成外科	講義	11-14
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の適応と禁忌 (1)	木下 幹雄	TOWN訪問診療所 院長	講義	11-15
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の適応と禁忌 (2)	木下 幹雄	TOWN訪問診療所 院長	講義	11-16
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去に伴うリスク (有害事象とその対策等)	寺部 雄太	東京西徳洲会病院 形成外科	講義	11-17
	DESIGN-Rに準拠した壊死組織の除去の判断	丹波 光子	杏林大学医学部付属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師/特定行為修了看護師	講義	11-18
	全身状態の評価と除去の適性判断 (タンパク量、感染リスク等) (1)	寺部 雄太	東京西徳洲会病院 形成外科	講義	11-19
	全身状態の評価と除去の適性判断 (タンパク量、感染リスク等) (2)	寺部 雄太	東京西徳洲会病院 形成外科	講義	11-20
	壊死組織と健全組織の境界判断 (1)	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-21
	壊死組織と健全組織の境界判断 (2)	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-22
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の方法	木下 幹雄	TOWN訪問診療所 院長	講義	11-23
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去に伴う出血の止血方法 (1)	榊原 俊介	兵庫県立がんセンター 形成外科	講義	11-24
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去に伴う出血の止血方法 (2)	榊原 俊介	兵庫県立がんセンター 形成外科	講義	11-25
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	OSCE	11-26	
(共通) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与に関連	循環動態に関する局所解剖	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-1
	循環動態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-2
	脱水や低栄養状態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-3
	輸液療法の目的と種類、病態に応じた輸液療法の適応と禁忌	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-4
	輸液時に必要な検査	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-5
	輸液療法の計画	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-6
(B) 脱水症状に対する輸液による補正	脱水症状に関する局所解剖、脱水症状の原因と病態生理	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-12
	脱水症状に関するフィジカルアセスメント、検査	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-13
	脱水症状に対する輸液による補正に必要な輸液の種類と臨床薬理	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-14
	脱水症状に対する輸液による補正の適応と使用方法、副作用、脱水症状の程度の判断と輸液による補正のリスク (有害事象とその対策等)	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-15
	脱水症状に対する輸液による補正の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	15-16